



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 株式会社遠藤照明 上場取引所 東
コード番号 6932 URL <https://www.endo-lighting.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 邦彦
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 後藤 修二 (TEL) 06-6267-7095
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	23,907	12.8	2,018	73.1	2,370	38.9	1,804	87.5
2023年3月期第2四半期	21,187	11.8	1,166	△28.9	1,706	△8.3	962	△29.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,035百万円(50.6%) 2023年3月期第2四半期 2,680百万円(17.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	122.15	—
2023年3月期第2四半期	65.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	62,160	35,349	56.9
2023年3月期	57,343	31,535	55.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 35,349百万円 2023年3月期 31,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2024年3月期	—	17.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,500	6.1	4,800	55.2	4,500	23.9	3,200	8.0	216.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期2Q	14,776,321株	2023年3月期	14,776,321株
2024年3月期2Q	152株	2023年3月期	152株
2024年3月期2Q	14,776,169株	2023年3月期2Q	14,776,169株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2023年11月15日(水)に証券アナリスト、機関投資家向け説明会を開催します。決算補足説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇及び為替変動リスク等の不安要素を抱えつつも、インバウンド需要の増加等により緩やかな回復基調となりました。世界経済においては、不安定な国際情勢を背景とする地政学リスクの高まり、各国の金利政策の変更に伴う急激な為替変動及び景気減速懸念等、先行き不透明な状況となりました。

このような状況の中、当社グループは、高付加価値空間創造企業として、持続可能でよりよい社会の実現を目指し、高い省エネ性能に加え、顧客価値を創造する光の質を高めた新製品の開発、製造及び販売に注力して参りました。

業界に先駆け製品をLED化して以降、製品のエネルギー効率の継続的な改善は製造メーカーの責務と考え、さらなる高効率照明器具の開発を進めるとともに、サステナビリティ委員会を設置し、「人と地球にやさしい未来の光」の創造に向けて、サステナビリティ経営を推進しております。

また、製造部門においては、環境に配慮した製品の提供を目指し、継続した品質改善活動及び原価低減活動を行うとともに、販売管理費の抑制に努めて参りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、23,907百万円（前年同四半期比12.8%の増収）となり、営業利益は2,018百万円（前年同四半期比73.1%の増益）、経常利益は2,370百万円（前年同四半期比38.9%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,804百万円（前年同四半期比87.5%の増益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

a. 照明器具関連事業

当セグメントにおきましては、業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えを実現し、高いブランドイメージの確立に努めました。

国内市場については、無線照明コントロールシステム「Smart LEDZ Fit/Fit Plus」及び無線調光調色器具「Tunable LEDZ」の販売促進に注力しました。電気料金の高騰やサステナビリティに関する社会的要請の高まりを背景に、既存照明器具の取り換え需要に加え、新設の商業施設やオフィス等の大型施設向け需要の取込みを強化しました。

また、自然の光、カラー演出、色味調整の三役を1台で備えた次世代無線調光調色器具シリーズ「Synca」の製品群を大幅に拡充し、東京事業所の体験型オフィスに引続き福岡営業所の体験型オフィス「Synca U/X Lab FUKUOKA」を活用した積極的な販売活動を展開しました。

さらに、急激な円安の進行と原材料の高騰による売上原価への影響の対応としては、価格改定を行うとともに、原価低減及び販売管理費削減の取組みを継続して進めました。

海外市場については、英国において2023年5月に「S16」カタログを発刊し、顧客密着型の営業を強化しました。また、革新的なサービス・製品の提供を行ったとして、1965年から半世紀以上の歴史を持つ英国公式賞である「The King's Awards（英国国王賞）」を受賞いたしました。

さらに、アジアでは、高級建築市場顧客の需要に応える「sync」シリーズの継続した新商品リリースを通じ、同市場における高いブランドイメージの確立と認知度向上に努めました。「sync4」カタログを2023年6月のWEB公表に引き続き7月に発刊し、既存顧客の深耕に努めるとともに高級建築市場の開拓を進めました。

この結果、売上高は21,152百万円（前年同四半期比11.3%の増収）（セグメント間取引含む。以下同じ。）となり、セグメント利益（営業利益。以下同じ。）は2,196百万円（前年同四半期比72.2%の増益）となりました。

b. 環境関連事業

当セグメントにおきましては、流通店舗を中心にLED照明の更新提案に注力しました。

昨今の電気料金の高騰及び初期型LED照明のメンテナンス費用の課題を解決するため、既存LED照明から最新のLED照明への更新による消費電力の削減及び店舗体験価値の向上を提案しました。特に既存店のLED照明更新の提案では、朝昼夜と時間帯で光の色と明るさを変化できる調光調色照明に取り換えることで、居心地がよく且つ消費電力の削減にも考慮したソリューションとして高評価をいただき、無線照明コントロールシステム「Smart LEDZ Fit/Fit Plus」及び次世代無線調光調色器具シリーズ「Synca」の採用に繋がりました。

また、営業活動においては動画を活用した展示会でのプレゼンテーションの再配信等、デジタルツールを活用することにも注力し、営業活動の効率向上に努めた結果、レンタル契約実績及び機器販売実績ともに堅調に推移しました。

この結果、売上高は4,929百万円（前年同四半期比26.4%の増収）となり、セグメント利益は443百万円（前年同四半期比14.9%の増益）となりました。

c. インテリア家具事業

当セグメントにおきましては、オフィス市場の開拓に注力し、同市場におけるブランド確立に向けた活動を展開しました。オリジナル家具の制作及び業者開拓、環境にやさしい素材を使った商品を提案しました。

オフィスで使いやすいテーブル及びチェアを拡充し、他メーカーと共同制作したオリジナルスツール及び環境にやさしい素材を使った商材等を取り入れたカタログ「AbitaStyle 12 改定版」を増刷し、更なるAbitaStyleブランドの認知向上のため訪問活動を強化しました。

また、行動制限緩和による人流回復を受け、ホテル関連への販売活動を強化しました。さらに、オフィスの多様化によって音環境に関する問題も増えてきていることから吸音パネルの受注獲得に向けた活動も積極的に進め、オフィス緑化を取り入れた大型物流施設の休憩スペースなども手掛けました。

この結果、売上高は449百万円（前年同四半期比6.4%の増収）となり、セグメント損失は63百万円（前年同四半期は58百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、62,160百万円(前連結会計年度末比4,817百万円の増加)となりました。

主な要因は、「現金及び預金」の増加2,991百万円、「受取手形及び売掛金」の増加783百万円及び「棚卸資産」の増加577百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、26,810百万円(前連結会計年度末比1,002百万円の増加)となりました。

主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加958百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、35,349百万円(前連結会計年度末比3,814百万円の増加)となりました。

主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上1,804百万円、「繰延ヘッジ損益」の増加22百万円、「為替換算調整勘定」の増加2,179百万円及び「配当金の支払い」による減少221百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、14,834百万円（前年同四半期末は10,628百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの増加は、3,822百万円（前年同四半期は1,283百万円の増加）となりました。

主な要因は、「税金等調整前四半期純利益」2,370百万円及び「減価償却費」1,464百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの減少は、1,459百万円（前年同四半期は1,159百万円の減少）となりました。

主な要因は、「有形固定資産の取得による支出」1,442百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの減少は、318百万円（前年同四半期は1,097百万円の減少）となりました。

主な要因は、増加要因として「長期借入れによる収入」1,500百万円、減少要因として「長期借入金の返済による支出」2,482百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年4月28日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,050	15,042
受取手形及び売掛金	8,386	9,169
商品及び製品	11,358	12,008
仕掛品	272	253
原材料及び貯蔵品	1,236	1,183
その他	1,945	1,954
貸倒引当金	△109	△184
流動資産合計	35,140	39,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,508	9,749
減価償却累計額	△4,943	△5,182
建物及び構築物(純額)	4,564	4,566
機械装置及び運搬具	3,444	3,572
減価償却累計額	△2,994	△3,153
機械装置及び運搬具(純額)	449	419
レンタル資産	15,023	15,215
減価償却累計額	△7,877	△8,127
レンタル資産(純額)	7,146	7,087
土地	3,453	3,452
リース資産	534	456
減価償却累計額	△398	△330
リース資産(純額)	136	126
建設仮勘定	319	582
その他	3,754	3,942
減価償却累計額	△3,191	△3,335
その他(純額)	563	607
有形固定資産合計	16,634	16,841
無形固定資産		
ソフトウェア	406	416
のれん	2,368	2,547
その他	97	113
無形固定資産合計	2,871	3,078
投資その他の資産		
投資有価証券	72	94
退職給付に係る資産	20	45
繰延税金資産	945	978
その他	1,733	1,820
貸倒引当金	△75	△126
投資その他の資産合計	2,696	2,812
固定資産合計	22,202	22,733
資産合計	57,343	62,160

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,282	5,240
短期借入金	2,850	3,750
1年内返済予定の長期借入金	4,794	4,589
リース債務	66	53
未払法人税等	207	416
賞与引当金	572	421
役員賞与引当金	120	82
製品保証引当金	655	762
その他	2,415	2,538
流動負債合計	15,965	17,855
固定負債		
長期借入金	8,239	7,462
リース債務	73	75
繰延税金負債	332	356
役員退職慰労引当金	119	103
退職給付に係る負債	251	287
その他	826	670
固定負債合計	9,842	8,955
負債合計	25,807	26,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,155	5,155
資本剰余金	5,516	5,516
利益剰余金	18,405	19,988
自己株式	△0	△0
株主資本合計	29,077	30,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	28
繰延ヘッジ損益	△67	△45
為替換算調整勘定	2,625	4,805
退職給付に係る調整累計額	△114	△99
その他の包括利益累計額合計	2,457	4,688
非支配株主持分	0	0
純資産合計	31,535	35,349
負債純資産合計	57,343	62,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	21,187	23,907
売上原価	13,723	14,637
売上総利益	7,463	9,269
販売費及び一般管理費	6,297	7,251
営業利益	1,166	2,018
営業外収益		
受取利息及び配当金	32	115
賃貸収入	70	81
為替差益	533	-
デリバティブ評価益	-	391
その他	38	18
営業外収益合計	675	607
営業外費用		
支払利息	49	47
賃貸収入原価	37	33
為替差損	-	166
デリバティブ評価損	30	-
その他	18	6
営業外費用合計	135	255
経常利益	1,706	2,370
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
役員退職慰労金	338	-
その他	0	0
特別損失合計	338	0
税金等調整前四半期純利益	1,369	2,370
法人税、住民税及び事業税	280	611
法人税等調整額	126	△45
法人税等合計	406	566
四半期純利益	962	1,804
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	962	1,804

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	962	1,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	14
繰延ヘッジ損益	△15	22
為替換算調整勘定	1,724	2,179
退職給付に係る調整額	9	14
その他の包括利益合計	1,717	2,231
四半期包括利益	2,680	4,035
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,680	4,035
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,369	2,370
減価償却費	1,459	1,464
のれん償却額	100	106
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△53	113
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△328	△166
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△76	△47
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	136	106
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△341	△15
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8	22
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△23	△25
受取利息及び受取配当金	△32	△115
支払利息	49	47
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△118	△330
棚卸資産の増減額 (△は増加)	886	78
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,605	667
未払金の増減額 (△は減少)	△190	212
その他	554	△264
小計	1,792	4,223
利息及び配当金の受取額	32	115
利息の支払額	△49	△48
法人税等の支払額	△491	△468
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,283	3,822
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,332	△1,442
有形固定資産の売却による収入	3	2
無形固定資産の取得による支出	△71	△89
定期預金の預入による支出	△189	△204
定期預金の払戻による収入	189	209
その他	241	66
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,159	△1,459
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50	900
長期借入れによる収入	1,700	1,500
長期借入金の返済による支出	△2,442	△2,482
配当金の支払額	△221	△221
その他	△83	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,097	△318
現金及び現金同等物に係る換算差額	999	942
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	25	2,987
現金及び現金同等物の期首残高	10,602	11,847
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,628	14,834

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	16,895	3,869	422	21,187	21,187
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,111	31	—	2,142	2,142
計	19,007	3,900	422	23,330	23,330
セグメント利益又は損失(△)	1,275	385	△58	1,602	1,602

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,602
セグメント間取引消去	38
未実現利益の調整額	28
全社費用(注)	△504
四半期連結損益計算書の営業利益	1,166

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	18,557	4,900	449	23,907	23,907
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,594	29	—	2,623	2,623
計	21,152	4,929	449	26,531	26,531
セグメント利益又は損失(△)	2,196	443	△63	2,576	2,576

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,576
セグメント間取引消去	44
未実現利益の調整額	3
全社費用(注)	△606
四半期連結損益計算書の営業利益	2,018

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。